

新学習指導要領による 2025 年度からの共通テストに関して

① 共通テストの改定概要

「地理歴史」「公民」「数学」は科目構成が変わり、「情報」が新設。高校の新学習指導要領では、プログラミングやデータ分析を含む「情報」、社会の課題とそれに関する地理的問題を学ぶ「地理総合」、世界と日本の近現代史を学ぶ「歴史総合」、社会の一員としての知識や考え方を学ぶ「公共」が必修となる。

② 共通テストの実施科目について

2025 年 1 月に実施される共通テストは、今の 6 教科 30 科目から 7 教科 21 科目に。教科は「情報」が加わるので 1 教科増えますが、科目は 30 から 21 科目に減っています。新設される「情報」について、国立大学受験生には必修となる見通しですが、現在の高校学習指導要領でも情報系の科目は課されており、高校教育にとって全く新しい教科ではないが実質注視され指導されているとは思にくい。

③ 共通テストの実施時間等

国語、数学は試験時間が長く 問題の数、質ともに大幅に変更か

25 年の共通テストは、問題数、問題の質ともに大幅な変更があります。

「国語の試験時間が今の 80 分から 90 分と 10 分長くなるので、現代文が 3 題になるのではないかとみています。数学ⅡB は、範囲が（ゆとり教育以前の）85 年から 96 年までのセンター試験の範囲に戻るのではちょっとつらいかも知れません。試験時間も今より 10 分長い 70 分になるので、会話文形式の問題文を本格的に出してくるのではないのでしょうか。英語のリーディングは、共通テストの導入に伴って取りやめた整序問題が復活するなど、ライティングの力を問う問題が増える可能性もあります。

25 年共通テストのすでに予告されている出題教科・科目等を含む試験の実施方針は、23 年 6 月頃に公表される予定。